



東京都 多摩薬々連携協議会

- 下平秀夫、阿部宏子、上村直樹、斉藤伸介、阪本康典、根岸 務、等 淳一郎、堀 博昭
前田良廣、村田和也、茂木 徹、山田哲道、山田政人、吉尾 隆、明石貴雄、戸塚淳逸

【薬々連携協議会の概要】

平成 14 年 4 月、東京・多摩地区の薬々連携協議会が発足した。委員構成は、多摩地区の基幹病院の病院薬剤師(多摩西南支部および多摩東支部)と、多摩地区の保険薬局より選出された薬剤師である。平成 15 年 7 月現在、戸塚委員長を含む都薬支部委員 10 名、明石副委員長を含む病薬支部委員 6 名の構成となっている。現在発展途上にあり、連携のための組織を徐々に作りながら課題を整理して企画を立案している段階である。今回は、当協議会の現況と展望について紹介させていただきたい。

【定例会・チーム編成】

平成 14 年 4 月に第一回協議会を開催した。協議会は隔月に行い、平成 15 年 6 月には第 8 回協議会を開催した。

課題を克服するための具体的な対策を検討するため、次の 3 チームを編成した。

- 1 班 適正な処方せんと正確な調剤
- 2 班 患者情報の共有化「お薬手帳等の利用」
- 3 班 研修・教育

【シンポジウムの開催】

平成 15 年 7 月 22 日に八王子学園都市センターにて第 1 回多摩薬々連携協議会シンポジウムを開催した。本協議会の設立趣旨の説明および定例会の報告が中心となった。地域医療の向上のため、薬剤師の連携が不可欠であるとの認識を新たにした。

■ 第 1 回多摩薬々連携協議会シンポジウム内容

1. 協議会設立の趣旨と経過報告 戸塚委員長 (都薬南多摩支部)
2. 病院薬剤師の活動紹介と薬々連携の展望 明石副委員長 (病薬多摩西南支部)
3. 適正な処方せんと正確な調剤 茂木委員 (都薬八王子支部)
4. 患者情報の共有化「お薬手帳の利用」堀委員 (都薬八王子支部)
5. 総合討論

【今後の展望】

東京・多摩地区の薬々連携協議会はまだ連携としては初期の段階であり、課題も多い。しかし、まず同じテーブルについたことの意義が大きいとの認識で一致している。じっくり、時間をかけてお互いを理解し、問題の発掘とその解決に向けての方針を決めていかなければならない。

今後定期的にシンポジウムを開催し地区薬剤師の積極的参加を促し、会員各位の意識の向上を図って行きたいと考えている。

【参考文献】

- 1) 「東京・多摩地区の薬々連携への取り組みでみえてきた薬剤師の課題」
Quality Pharmacy 2002 年 11 月号 1-4.
- 2) 「東京・多摩地区の薬-薬連携協議会の活動紹介」日本薬剤師会雑誌第 6 巻(2003 年)第 6 号 91-94.